

利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域

生態-05

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 利根沼田森林管理署・中越森林管理署
所在地	群馬県利根郡みなかみ町、新潟県魚沼市・南魚沼市
面積	20,085.77 ha
設定年	1990(H2)年
保護林の概要 (設定目的)	ブナ・オオシラビソ・コメツガ・クロベ・キタゴヨウ等の原生的な天然林と雪田植物群落湿原植生、ササ群落など豊富な植生が分布しており、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するため設定した。



平ヶ岳山頂域の草地植生(2019.7.23撮影)



オオシラビソ群落(2019.07.26撮影)

モニタリング調査概要

実施年度	2009年(利根上流森林計画区)、2011年(中越森林計画区)、2014年(利根上流森林計画区)、2016年(中越森林計画区)、2019年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、オオシラビソ林、高山ハイデ・風衝地植物群落、雪田植物群落、湿原植生等の生育地において調査プロットを合計18箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に2つ調査ルート設定し、保護林内における出現種を把握。
結果概要	いずれの森林調査地点も前回調査時と比較して大きな変化は見られなかった。但し、過去のナラ枯れの影響で消失したミズナラについては、ブナ群落内において後継樹は確認されなかった。山頂域に成立している高山ハイデ・風衝地植物群落、雪田植物群落、ササ自然草原、湿原植物群落については、群落構造に大きな変化は認められなかった。今年度の調査の結果、本保護林は良好な状態が維持されている。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。